

## プレス発表資料

平成24年5月18日

独立行政法人 防災科学技術研究所

### eコミュニティ・プラットフォームを用いた つくば市竜巻災害における災害対応支援を実施

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、2012年5月6日に発生した竜巻災害について、つくば市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターに対して、オープンソースのウェブアプリケーション「eコミュニティ・プラットフォーム」（以下、eコミ）を用いた災害対応を実施しています。

つくば災害ボランティアセンター（以下、災害VC）では、eコミを活用し、地図による被災者からのボランティアニーズを管理しつつ、ボランティア受付・派遣等を実施しています。なお、地図データについては、民間地図会社の無償支援を受けています。

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会

#### 【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所  
社会防災システム研究領域  
災害リスク研究ユニット  
長坂、李、田口、須永  
電話：029-863-7553

#### 【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所  
アウトリーチグループ  
大石、松宮  
電話：029-863-7783  
FAX：029-851-1622

# eコミュニティ・プラットフォームを用いた つくば市竜巻災害における災害対応支援を実施

## 1. はじめに

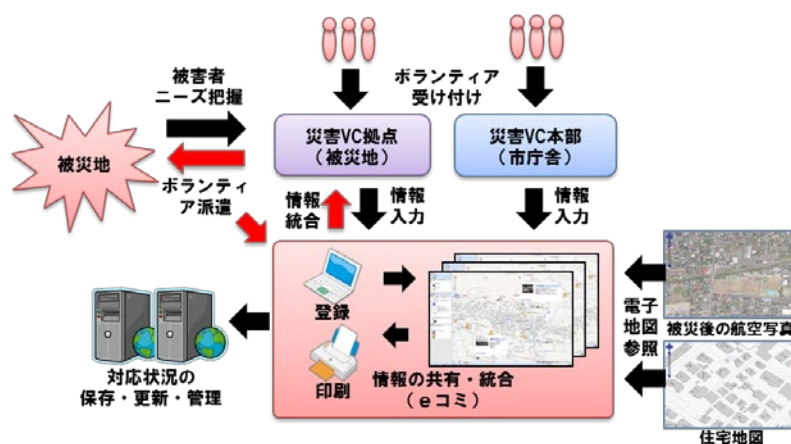
独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、2012年5月6日に発生した竜巻災害について、つくば市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターに対して、オープンソースのウェブアプリケーション「eコミュニティ・プラットフォーム」（以下、eコミ）を用いた災害対応を実施しています。

つくば災害ボランティアセンター（以下、災害VC）では、eコミを活用し、地図による被災者からのボランティアニーズを管理しつつ、ボランティア受付・派遣等を実施しています。なお、地図データについては、民間地図会社の無償支援を受けています。

## 2. 支援内容

### 2. 1 災害VCにeコミ利用環境を構築（5月7日）

つくば市社会福祉協議会が立ち上げた2カ所の災害VC（つくば市役所内の災害VC本部及び被災地の現地災害VC）に対し、当研究所が開発したウェブアプリケーションであるeコミをSaaS（ソース、Software as a Service）として提供し、さらに情報通信機材（PC、通信端末、プリンター等）を各災害VCへ設置してeコミが利用できる環境を構築しました。これにより、災害VCではeコミマップを使った地図印刷、2カ所の離れた災害VC間のeコミグループウェアによる情報共有ができるようになりました。



<災害VCでのeコミ活用>

### 2. 2 eコミによるボランティア受け付け状況の共有

災害VCで使われている「ボランティア受け付け様式」及び「ボランティアニーズ受け付

け様式」に合わせてe コミグループウェア及びe コミマップに入力フォームを設定し、離れた2カ所の災害VCからボランティアを同時に受け付けています。これにより、現地災害VCでは、ボランティア受け付け状況をe コミグループウェアからリアルタイムで集約しながら、被災者からのニーズに合わせてボランティアをマッチング・派遣しています。



<災害VC本部>



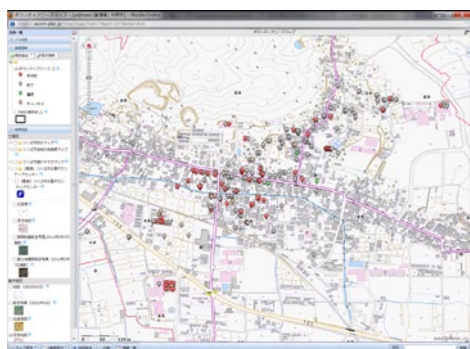
<現地災害VC>



<受付情報のe コミ入力>

## 2. 3 e コミによるボランティア活動状況の管理

現地災害VCでは、被災者から把握・集約したボランティアニーズをe コミマップに登録し、ボランティアの活動場所と活動内容が示された地図（住宅地図）を土地勘のないボランティアに印刷・提供して現地へ派遣を行っています。また、被災者からのニーズに対するボランティア活動状況をe コミマップに登録（「未対応」「継続」「終了」）し、対応状況を可視化しながら管理しています。一方、災害VC本部では、これらの対応状況をリアルタイムで共有・把握しながらボランティア受け付けを調整しています。なお、地図については、株式会社ゼンリンから住宅地図（2011年秋版）及び国際航業株式会社から被災後の航空写真（2012年5月7日撮影）の無償提供を受けて背景地図として活用されています。



<e コミマップでの対応状況管理>



<印刷したボランティア派遣マップ>



<ニーズ登録>



<ボランティア派遣>



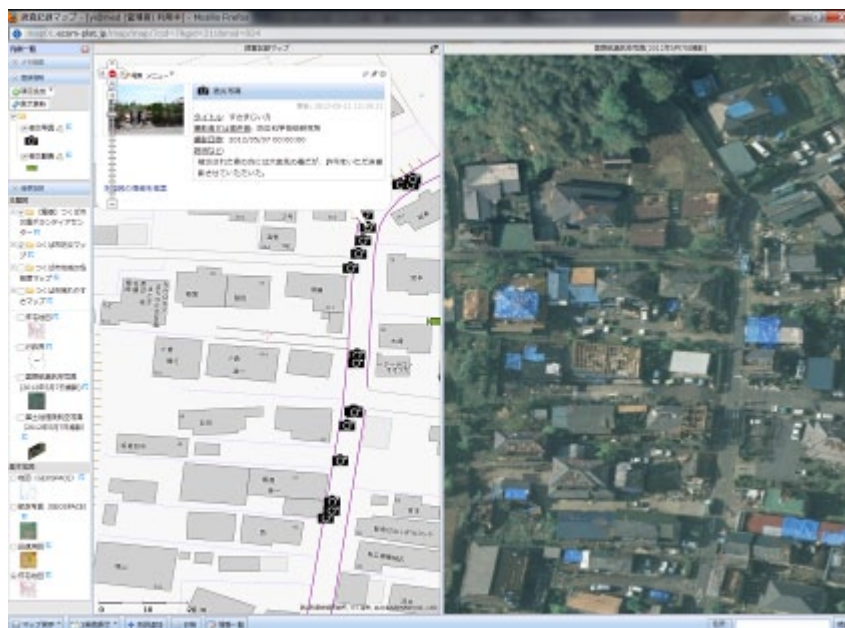
<活動状況管理>

### 3. 取り組みの詳細

支援内容およびアーカイブについての詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。  
 防災科研リスク研究グループ「つくば市北条地区竜巻被害対応」サイト  
<http://tsukuba.ecom-plat.jp/index.php?gid=10101>



<つくば市竜巻被害対応サイト>



<e コミマップ>

(左：住宅地図 (株式会社ゼンリン)、右：被災後の航空写真 (国際航業株式会社))

## e コミュニティ・プラットフォームについて

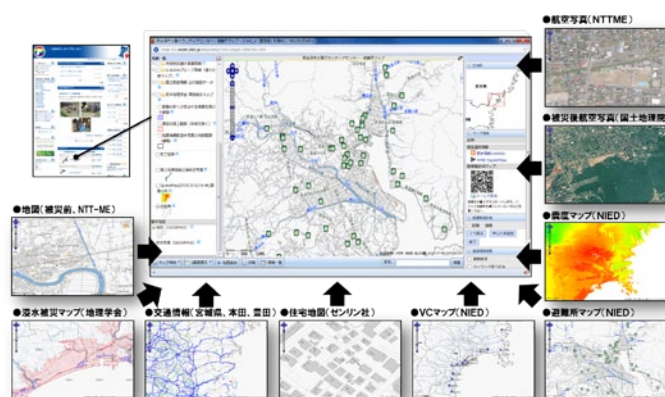
e コミュニティ・プラットフォーム（略称 e コミ）は、総合科学技術会議の社会還元加速プロジェクトに位置づけられて当研究所が開発した、地域コミュニティによる情報発信、情報共有、地域の問題解決のためのコミュニケーションを支援するためのウェブアプリケーションです。2009 年よりオープンソースによる無償提供を行っています。

e コミは、HTML の知識がなくても web ページが作成できる CMS「e コミグループウェア」と、地図を作成できる地図ツール「e コミマップ」で構成されています。これまで、当研究所が主催する防災コンテスト (<http://bosai-contest.jp>) や、防災マップ作成支援サイト、地域経営プラットフォームとして活用されてきています。

また、e コミは、東日本大震災の発災初期から現在まで、宮城県及び同県下の複数自治体の災害 VC 運営に活用されています (<http://msv3151.c-bosai.jp/>)。同県内の災害 VC では、e コミグループウェアを利用した災害 VC 同士や様々な災害支援団体との災害情報共有をはじめ、災害 VC 運営状況やボランティア募集状況などの地域外へのフレッシュな情報発信、また、e コミマップを利用したボランティアニーズの集約やボランティア活動状況の管理などを行っています。今回の竜巻被害の対応支援についても、これらの東日本大震災の経験から得られた知見が活かされています。



### <e コミグループウェア>



### <e コミマップ>

※e コミュニティ・プラットフォーム公式サイト <http://ecpm-plat.jp>